# 災害データ検索の操作方法

#### **(1)** ホームページトップ画面

「災害データ検索」をクリック

港湾労災防止協会のご案内

各総支部のご案内

勞働災害防止活動

災害データ検索

ヒヤリ・ハット事例情報検索

安全衛生セミナー経営トップセミナー



新着情報

**※** 

# ② 災害データ検索画面

# Ж

労働災害発生状況の項目をクリック ⇒以下の②- i 画面へ

## **\* \***

労働災害詳細データをクリック ⇒以下の②- ii 画面へ

# **\*\***

労働災害事例検索をクリック ⇒以下の②-iii画面へ

# 災害データ検索

港湾貨物運送事業の労働災害発生状況

港湾貨物運送事業の労働災害で詳細が把握されているものについて、 発生状況に関する業種別(船内荷役、沿岸荷役、港湾運送関連)等の 集計表を掲載しています。

【掲載集計表 平成23~令和4年累計】

業種別,総支部別災害発生状況

3.業種別·起因物別災害発生状況

4.業種別·年齡別災害発生状況 5.業種別・経験年数別災害発生状況

6.業種別·関連機械別災害発生状況

7.業種別·作業職種別災害発生状況 8.事故の型別・起因物別災害発生状況

(\*集計事項全体版)

# 労働災害詳細データ

港湾貨物運送事業の労働災害のデータベース(Excel) です。 項目別(業種別、事故の型別、起因物別、経験年数別等)にデータを抽出して、 労働災害の分析や集計表の作成に利用することができます。

労働災害詳細データ抽出  $\times \times$ 

#### 労働災害事例集

港湾貨物運送事業の個々の労働災害の事例の発生状況、考えられる原因、講じられた対策を 掲載しています。

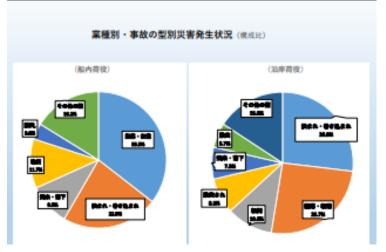
項目別(業種別、事故の型別、起因物別、経験年数別等)に検索して閲覧することができ、 検索結果一覧には個々の災害の発生状況の概要も表示しています。

(事例によっては、発生状況、対策等が準備中等のため掲載されていないものがあります。)

● 労働災害事例検索 version Ⅲ ) ※※※

# ②- i 項目別労働災害発生状況画面

						(,46	相关放、右	derr-de
	807	用保	59.00	再校	港湾港	8円8	- 1	lt
装落・松落	197	35.5	145	25.7	44	32.4	425	30.1
829	65	11.7	60	10.6	12	0.0	161	11.6
源庆	21	3.8	32	5.7	11	8.1	71	5.0
根本・株下	55	9.9	41	7.3	9	6.6	111	8.0
肩镣 - 何晓	16	2.9	20	3.5	1	0.7	39	2.8
激突され	26	4.7	46	8.1		5.9	90	6.4
挟まれ・巻き込まれ	127	22.9	152	26.9	34	25.0	354	25.1
切れ・こすれ	6	1.1	5	0.9	6	4.4	19	1.3
踏み抜き	0	0.0	2	0.4	0	0.0	- 4	0.3
sifft.	1	0.2	1	0.2	0	0.0	- 4	0.3
英温・位温のものとの使 触	1	0.2	5	0.9	0	0.0	6	0.4
有害物との損極	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
88	2	0.4	1	0.2	0	0.0	3	0.2
類別	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
896	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
大災	1	0.2	0	0.0	0	0.0	1	0.1
交通事故	1	0.2	4	0.7	1	0.7	6	0.4
動作の反映・無理な動作	28	5.0	44	7.8		5.9	92	6.5
その他	- 4	0.7	- 6	1.1	0	0.0	12	0.9
B†	555	100.0	565	100.0	136	100.0	1411	100



#### ②- ii 労働災害詳細データ抽出画面

Excel データ。 分析・加工が可能。

A	В	C	D	E	F	G	Н	1	J	K	L	M	N	0	Р	Q	R	\$			
整理番~	①総支▽	②年 🔻	3A 🔽	<b>⊕</b> ■[•	⑤時表。	⑥年齢 🗸	⑦雇用▼	8舶型▼	⑨経験年 🗸	◎規模▼	①業種 🔻	②作業職・	③関連機械▼	9H4-	⑤荷姿[▼	⑧事故の⊋	D起因物 w	极	퓻	¥	
1012	東海	令和元年	3	金曜	10	30~39度	常用		5年~10年未	50~99人	沿岸	作業員	移動式クレーン	石炭	ばら物	はさまれ・巻	物上げ装置・運	クレーンの旋回レールに注油中クレーンゥ	何り出し退避し	らとして	
																		足を潜らせ転落し被災 省物に掛かる>-トを外すため自	Make B	- 7 84 60	
1013	東海	令和元年	3	金曜	14	50~59歳	常用		20年~30年未)	300人~	沿岸	作業員		調管・調材	素材	崩壊・倒壊	物質・材料	具初に母かの7-1を外すたのま 出し貨物の間に足を挟み受傷	初の上に至ったと	この別化	
																		クレーン運動室から陥りる際下録	「イプに掛けた足が	滑って転	
1014	北海道	令和元年	3	月曜	18	50~59歳	常用		20年~30年未)	50~99人	沿岸	255	移動式クレーン			墜落・転落	物上げ装置・運	落し地面に手をつき受傷			
1015	由北	会和元年	1	BI	8	40~49倍	28	***	10年~30年来	100-200 (	船肉	CEA	2627	能石	ばら物	80.50	その他の装置等	パケットの本船クレーンへの取付けて	タパケット端に上り接	統金具を	
1013	*16	事物ルナ	1	Heir	0	40 - 4086	mm	红米和	30+A)	100 -255/	arr	T-PAPE	mare	7851	14-040	36.49	てが他の家庭寺	移動の際体動を崩し飛び降り			
1016	東北	令和元年	1	木曜	17	30歳未満	常用	在来船	5年~10年未	100~299人	沿岸	主張ける	その他	石炭	ばら物	その他	その他	船倉へのパックキー投入でクレーンに		圧掛けに	
																		n' 794-ヘ駆け寄った際足を捻 トラック上で7レコンの玉巻作章中足		E A WILL	
1017	日本海	令和元年	2	火理	15	40~49歳	常用	在来船	10年~30年末)	100~299人	沿岸	作業員	フォークリフト	その他	その他	その他 動作の反動・	仮設物・建築物	777 エ C/V-I/W 五知1F来中に 79 に相まった陽屈を受傷	ルッパ フノスか崩れる	1長の電灯	
																		コンテナ船で3段目のロング・バーでの	ファンラッシング 作業中	首を捻っ	
1018	日本海	令和元年	3	金曜	8	40~49衰	常用	コンテナ船	10年~30年末)	100~299人	船内	作業員	その他	その他	コンテナ	動作の反動・f	その他	た			
1019	日本海	会和元年	3	火曜	16	30~39#	常用	***	1年~5年未達	100 200 i	船内	628	その他	Men	維物	望信・転落	96 . HO	船内の横込み貨物を角材で国	専作業中足を掛けて	にいたチョッキ	
1013	口中府	マロルナ	3	大堆	10	30~39g	mm	世末日	14~34水液	100~239)	sn	199.00	TVE	和共成	相切	本海,42海		ングが外れバランスを崩して転落			
1020	日本海	令和元年	3	土曜	16	30~39년	常用	在来船	10年~20年末	100~299人	沿岸	作業員	その他	その他	その他	はさまれ・巻	その他の装置等	9イヤー伸ばし機を使用し9イヤーを	伸ばす作業をして	ハた時指	
																		先を挟み負傷 本船内の銀材の権込み作業で	/.l.ade/= = - 3.1	±0+12.	
1021	兵庫県	令和元年	3	世曜	14	30~39년	常用	在来船	10年~20年未	10~29人	船内	主張け者	編貨装置	調管・期材	梅物	墜落・転落	Pi	や加門の明刊の便込みTF集で 世胎底へ転落	1田の塔に立った	かたて渡り	
****			_															ハッチカバーを揚げる際ロックが外れ	ているかハッチカパー	を歩き確	
1022	兵庫県	令和元年	3	金曜	14	40~49段	常用	コンテナ船	10年~30年末)	I 100∼299,A	船内	台灣有		その他	コンテナ	転倒	その他	認中足を滑らせハッチカバーから落	F		
1023	五百里	会和元年	1	太理	16	40~49#	28	コンテナ船	10年~30年来	100~299Å	船肉	579+-	その他	その物	コンテナ	はさまれ・春	動管・材料	コンテナの固縛資材を力を入れ引	っ張った時期いよ	(外れ固縛	
			-															台と資材に指を挟まれた			
1024	兵庫県	令和元年	1	金曜	13	40~49歳	常用	在来船	10年~30年未	50~99人	船内	主張け者	移動式クレーン	その他	最物	はさまれ・春	物上げ装置・道	クレーンでアレコンパック゚の水切り作! 遅れて船内の壁との間に挟まれ		別の過程が	
																		連れて知りの立との間に伏るイ コンけから貨物を転がし取り割		倒れ足が質	
1025	兵庫県	令和元年	1	木曜	9	60歳以上	常用		30年以上	100~299人	沿岸	作業員	フォークリフト	その他	ばら物 転倒	転倒	環境等	物とコンテナ床の間に挟まれた	7 11 36 -9 10 56 10 70	41-ALV A	
1026	丘庫包	令和元年	2	A.W.	14		全田			FR 401	20厘	nea nea	子の他	7.0M		ンテナ 敦密され			コンテナ入口で扉に背を向けて作	集中国縛していな!	が風で
1020	共傳派	写相儿牛	2	金曜	14	30~39歳	新用		1年~5年未満	50~99A	沿岸	作業界	TV/18	শ্ৰুপাছ	コンナナ	政災され	有	関まり足に当たって負傷			
1027	大阪	令和元年	2	水理	10	60歳以上	常用		10年~20年末	1~9人	沿岸	作業長	天井クレーン	雑貨額	箱物	墜落・転落	物上げ装置・遅	トラックから降りる際に後部パンハ	-に足を掛けたと	ころ踏み	
																		外し転落		to Lett	
****			^			-												水道管の積込み作業でプルーシー	いかかった水道管	の上を夢	

# ②-iii 災害データ検索画面

# 災害データ検索 versionⅢ

整理番号	
総支部	□ 北海道     □ 東北     □ 日本海     □ 千葉     □ 東京     □ 神奈川     □ 東海     □ 大阪       □ 兵庫県     □ 中国     □ 四国     □ 九州     □ 沖縄
発生年	<b>∨</b> ~ <b>∨</b> 月 <b>∨</b> 曜日 <b>∨</b> 時
年齡	□ 30歳未満 □ 30~39歳 □ 40~49歳 □ 50~59歳 □ 60歳以上 □ 不明
雇用形態	□ 常用 □ 派遣 □ 日雇
経験年数	□ 1年末満 □ 1年~5年末満 □ 5年~10年末満 □ 10年~20年末満 □ 20年~30年末満 □ 30年以上 □ 不明
事業規模	□ 1~9人 □ 10~29人 □ 30~49人 □ 50~99人 □ 100~299人 □ 300人~ □ 不明
船型	□ コンテナ船 □ RO/RO船 □ 在来船 □ はしけ □ その他
業種	□ 船内 □ 沿岸 □ はしけ □ いかだ □ 検数・検定・鑑定 □ 関連 □ その他
作業職種	○ 船内荷役作業主任者     □ フォアマン     □ 沿岸荷役主任者     □ 運転者     □ 合図者       □ 玉掛け者     □ 検款     □ 検定     □ 3ッシャー     □ 清掃     □ 警備員       □ 作業員     □ その他
関連機械	□ 据貨装罟 □ 天井クレーン □ ガントリークレーン □ トランスファークレーン □ 移動式クレーン □ フォークリフト □ ストラドルキャリアー □ ショベルローダー □ ブルドーザー □ クラムシェル □ トラクターショベル □ フォークローダー □ トレーラー □ その他
品名	□ 原木 □ 製材 □ 合板 □ 車 □ 銅管・銅材 □ パナナ □ くず鉄 □ 冷凍魚 □ 鉱石 □ 石炭 □ チップ □ 雑貨類 □ 原糖 □ 飼料 □ ロール紙 □ こく物 □ その他
荷姿等	素材     説物     ベール     梅物     東物     ばら物     箱物     缶物
事故の型	「壁落・転落     「転倒     「激突     「飛来・落下     「崩壊・倒壊     「激突され」       はさまれ・巻き込まれ     「切れ・ごすれ」     「踏み抜き」     おぼれ       高温・低温のものとの接触     「有害物等との接触」     「感電」     「繰発」     「破裂」     「火災」       交通事故     「動作の反動・無理な動作」     その他
起因物	□ 動力機械         □ 物質・材料         □ 不の他の装置等         □ 仮設物・連築物・構築物等           □ 物質・材料         □ 荷         □ 環境等         □ その他
発生状況 原 因 対 策	キーワードを入力してください ● OR (いずれかに一致) ○ AND (すべてに一致) ※キーワードが複数ある場合はスペースまたはカンマ区切りで入力してください

検索事項を入力し、 データ検索をクリック ⇒検索結果一覧画面へ

【検索結果-	一覧画面
	見凹凹』

閲覧したい事例の<mark>詳細</mark>をクリック ⇒事例詳細画面へ

\$TE⊒€ : D(	07件【1件~1	.01+3			発生年が新しい順・
整理番号	業種	経験年数	事故の型	起因物	概要
148	船内	10年~20年未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築 物等	荷役作業準備中本船が- ン下の2つチテラブル上部よ りデッキへ転落し背骨を 負傷
整理番号	業種	経験年数	事故の型	起因物	概要
146	沿岸	30年以上	墜落・転落	荷	大径管水切り作業で大 径管の鋼管就にInfn-を 掛けるため移動中に転 落
整理番号	業種	経験年数	事故の型	起因物	概要 揚貨装置操舵室よりデッ
1144	船内	20年~30年未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築 物等	海貝表直採形並よりアッ キヘ本船設備鉄格子を使 用し降りる際足元が滑 り墜落
整理番号	業種	経験年数	事故の型	起因物	概要
1140	関連	5年~10年未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築 物等	倉庫内の階段を降りる 際階段を1段飛ばしで踊 り場に着地し足を負傷
整理番号	業種	経験年数	事故の型	起因物	概要
138	船内	30年以上	墜落・転落	仮設物・建築物・構築 物等	Dテナ齢でラッシンが作業中 次の段取りで資材を連 ぶ際足が滑り通路へ転 落し足を受傷
整理番号	<b>業種</b>	経験年数	事故の型	: 起因物	概要
¥136	沿岸	不明	墜落・転落	物上げ装置・運搬機械	ようが、##リアのグラップ を降りている際足が滑り体 勢が崩れて着地時に足を捻り手もついて被災
- 学班番号	※ 華	経験年数	事故の型	記因物	把事
1147	沿岸	不明	要落・転落	物上げ装置・運搬機械	9(ストロックがシャーシに引掛かった状態でカ゚ントリーハーン がヘッドシナーシごと巻上げ た後落下し運転者が被
整理番号 #134	<b>業種</b> 船内	経験年数 10年~20年未満	事故の型	起因物物上げ装置・連搬機械	概要 フォーゲアトから降りる際滑 って転落し膝を強打
整理番号 #130	業種	経験年数不明	事故の型	起因物 仮設物・建築物・構築 物等	概要
				100-34	ずじット底部に落下
整理番号	業種	経験年数	事故の型	起因物	概要 解の屋根板のコーシケに 詳細
1128	はしけ	20年~30年未満	墜落・転落	仮設物・建築物・構築 物等	かかりの悪い箇所を直 そうとして落下し負傷

□ 全選択解除

# 【事例詳細画面】

#### 災害事例 ( 2143 )

 (業種) 船内
 (年齢) 30歳未満

 (事故の型) 墜落・転落
 (経験年数) 1年未満

 (起因物) 物上げ装置・運搬機械
 (作業職種) 作業員

 (株業見込み)
 (周連機械) 揚貨装置

 (品名) その他
 (荷姿等) その他

#### 発 生 状 況

被災者は船内にコンテナを積込み後、船内にてクレーンのフックを外し、クレーンの巻上げに備えて吊り具のプレを防ぐため両手で吊り具を保持していた。デッキマンが船内の安全確認後クレーンオペレーターに無線で巻き上げを指示、巻上げを開始した直後にフックの先端が被災者の右手の革手袋の隙間に入り込み体全体が吊上げられた。船内からの声で異常に気付き直ちにクレーンを停止したが、停止のはずみで手袋からフックが外れ、被災者は約6mの高さから落下し、船底に右足から着地しそのまま倒れ腰などを強打した。

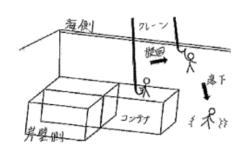
# 原 因

- ・コンテナからの墜落防止措置を行っていなかった。
- ・被災者が吊り具を保持することに集中してクレーンフックの位置を確認していなかった。
- 作業員相互の連絡調整が十分に行われていなかった。

#### 付 策

- ・コンテナの上で作業を行う場合は、ポールを立てローブを張るなどにより転落防止措置を行う。
- ・作業手順を遵守し作業員相互の連絡調整を適切に行う。
- ・安全に対する意識を向上させるためリスクアセスメント、KYT等の教育を行う。

#### 【略図·写真】



# 災害データ検索の活用例

災害データ検索では、キーワードを入力して事例検索を行うこともできます(AND 検索。OR 検索ともに可能)。こうした機能も用いた災害データベースの活用例を以下に示します。参考として下さい。

# シーン 作業前ミーティングでの指示内容を考えたい

明日、船内での作業があるが、天気予報では、この先数日、雨が降りやすい日が続くとされている。激しい雨に見舞われるおそれもありそうだ。作業前のミーティングで指示する内容の参考としたいので、雨天が関係した本船デッキ上での災害事例を知りたい。

キーワードを入力してください

の欄に 雨 デッキ

と入力し AND 検索を選択



事例の一覧を表示。(14件 事例の詳細の一部を以下に掲載)

# ★災害事例

(事故の型) 転倒 (起因物) 仮設物・建築物・構築物等 (休業見込み) 10日 第10·12 胸椎、第1・2・3 腰椎横突起骨折

## 【発生状況】

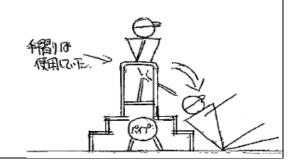
被災者は岸壁に接岸中の本船デッキ上にて合図作業を行っていた。右舷側から左舷側へ移動する際、パイプを乗り越えるための階段(3段)の最上部で足を滑らせて後側へ転倒し、背中を階段部分に強打した。

## 【原 因】

雨が降っている中で雨と油分で階段と安全靴が滑りやすくなっていた。

# 【対 策】

- ・雨の日は滑りやすい状況になることを ツールボックスミーティングで周知 する。
- ・安全靴に油分が付着した場合はウェス等でふき取ることを指導・徹底していく。



# ★災害事例

(事故の型) 墜落・転落 (起因物) 荷

(休業見込み) 3ヶ月 左肩鎖骨関節脱臼 左側頭部皮下血腫

# 【発生状況】

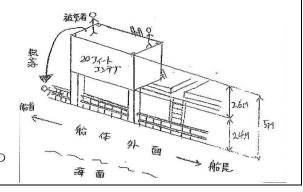
本船デッキ左舷側1本目のコンテナをデッキ上に積んだところで、コンテナ側面にハッチカバー上から梯子をかけ、コンテナ上面に上がって船首側に移動中に、足を踏み外してコンテナ上面から5m直下の甲板通路上に落下して受傷した。

# 【原 因】

- ・コンテナの端に墜落防止の手摺等を 設置していなかった。
- ・当時1時間当たり23ミリの雨が降っており、周りが見にくかった。

# 【対策】

- ・高さ2m以上の場所で作業させる際は 墜落防止措置を確実に行わせる。
- ・降雨等の場合の作業について作業中止の 基準等を定めておく。



# ヒヤリ・ハット事例情報検索の操作方法

① ホームページトップ画面

「ヒヤリ・ハット事例情 報検索」をクリック





新着情報

② ヒヤリ・ハット事例情報 検索画面

> 「事例情報検索画面へ」を クリック



ヒヤリ・ハット事例情報検索

様々な場面で発生したヒヤリ・ハット事例の中から、関心のある事例を検索 し、画像も含めて閲覧することができます。

事例情報検索画面へ

③ 検索事項入力画面

ヒヤリ・ハット事例情報検索

T-TW-2	
作業の種類	船内   沿岸   はしけ   いかだ   検数・検定・指定   関連   その他
体験者の年齢	□ 30歳未満 □ 30~39歳 □ 40~49歳 □ 50~59歳 □ 60歳以上
体験者の経験年数	□ 1年未満 □ 1~5年未満 □ 5~10年未満 □ 10~20年未満 □ 20~30年未満 □ 30年以上
起きた年・月・時刻	~
起きた場所	□ 本船甲板上 □ 本船船前内 □ 戸壁 □ 上屋内 □ 上屋周辺 □ コンテナヤード □ その他の場所
災害となった場合に 考えられる事故の型	歴第・転簿         転倒         激突         飛来・落下         原導・倒壊         激突され           はさまれ・巻き込まれ         切れ・こすれ         請み抜き         おぼれ           高温・低温のものとの接触         有書物等との接触         感電         爆発         破裂           火災         交通事故         動作の反動・無理な動作         この他
ヒヤリ・ハットの 状況・内容 再発防止対策	キーワードを入力してください ● OR(いずれかに一般) ○ AND(すべてに一般) ※キーワードが複数ある場合はスペースまたはカンマ区切りで入力してください

検索したい事項を入力し 「データ検索」をクリック

Q データ検索

□ 全選択解除

# ④ 検索一覧画面

「詳細」をクリックすると 個別の事例の内容を表示

整理番号	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	ヒヤリ・ハットの概要	災害となった場合に 考えられる事故の型 詳細
1005	その他	50~59歳	上屋内	凍結していた階段で転 倒しそう	転倒
整理番号	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	ヒヤリ・ハットの	災害となった場合に
	11 3003 12300	11.00.2007 1.00	ALC: UNIT	概要 倉庫から出ようとした	考えられる事故の型詳細
4029	その他	30~39歳	上屋内	時ダンプカーが走行し てきて接触しそう	激突され はさまれ・巻き込まれ
整理番号	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	ヒヤリ・ハットの	災害となった場合に
22-2-0-7	II XOJIEM	THAN BOY THE		概要コンテナの除からトラ	考えられる事故の型 詳細
2008			コンテナヤード	ックが飛び出し	激突され
				トヤリ・ハットの	災害となった場合に
整理番号	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	概要	考えられる事故の型 詳細
2001	その他	30歳未満	その他の場所	シートをめくる作業で 転倒しそう	墜落·転落 転倒
					Lover to the second
整理番号	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	ヒヤリ・ハットの概要	災害となった場合に 考えられる事故の型
				が デッキ上を通行時、雨	そんられる争政の空 詳細
11033	沿岸	50~59歳	本船甲板上	で濡れていたためスリ ップしそうになった。	転倒
		1	1.	トヤリ・ハットの	災害となった場合に
整理番号	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	概要	考えられる事故の型 詳細
2006			本船甲板上	コンテナ船での作業で ロングバーが落下	ат-жи
				トヤリ・ハットの	災害となった場合に
整理番号	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	概要	考えられる事故の型 詳細
2005			**********	トレーラーに接触しそ	ラスライでも中欧の生 けさまれ、巻きはまれ

# ⑤事例詳細画面

# ヒヤリハット事例情報 (港湾労災防止協会)

データ番号 KH06011 (作業の種類) 沿岸

(体験者の年齢) 30 歳未満 (経験年数) 5~10年未満

(起きた日時) 2020年 1月 午前10時 (起きた場所) その他

(起きた場所) その他 (関連する機械) フォークリフト

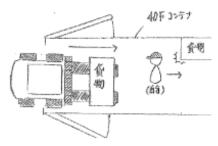
【ヒヤリハットの状況・内容】

貨物のコンテナ詰め作業でフォークリフトを誘導していて置いてある貨物にぶつかりそう になった。

# 【再発防止対策】

フォークリフトを誘導する際、周囲の確認を行い自分の安全を確保した状態で作業を行う。

略図·写真



#### ※災害となった場合に考えられる事故の型(複数可)

激突 はさまれ・巻き込まれ

# ヒヤリハット事例情報の活用例

ヒヤリハット事例情報の活用の一手法として、災害データベースも併せて使用し、作業現場で把握した危険(ヒヤリハット)からどのような災害が発生する可能性があるかを推察することができます。 以下にこの方法により作成した参考例を掲載します。ケースはハシゴ使用時の危険についてです。

## ・ヒヤリハット事例

# 【ヒヤリハットの状況・内容】

石灰石揚げの作業で荷役状況を確認し、本船船員が設置したはしごを使って岸壁に降りようとした際、はしごから足を踏み外し海に転落しそうになった。

# 【再発防止対策】

はしごのステップをよく見て慌てずゆっくり降りるようにする。セーフティブロック、ライフジャケットの装着。

【災害となった場合に考えられる事故の型】 おぼれ



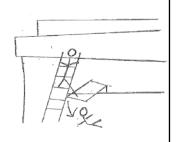


# ・実際に起きた災害事例

(事故の型) 墜落・転落 (起 因 物) 仮設物・建築物・構築物等 (休業見込み) 2 ヶ月 右足股関節恥骨骨折

## 【発生状況】

本船の荷役作業中、昼食時間の交代で作業を中断して作業場より備え付けのハシゴを使いデッキ部に降りようと左足をハシゴにかけ、右足をハシゴの横にある台にかけたところ、右足が滑って落下し右太もも部分を打撲した。ハシゴの昇降時に 3 点支持が行われていなかった。



(事故の型) 墜落・転落 (起 因 物) 仮設物・建築物・構築物等 (休業見込み) 6週間 右踵骨骨折

# 【発生状況】

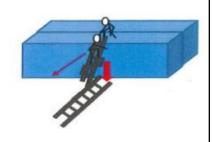
バナナの積み込まれたコンテナの揚荷役をしていて、本船所有のハシゴを使用して 1段目のコンテナに上がろうとしたところ、ハシゴが滑り転倒しそうになり、ハシゴ から離れようと約1.5mの高さからデッキに飛び降りた際に右踵を負傷した。

#### 【原因】

本船所有のハシゴ(3 m40cm)を使用し、上部に 30cm しか出ておらず無理な姿勢で支えていたため、ハシゴの下部が滑った時に上部で持ち堪えることができなかった。

# 【対策】・

- ・ハシゴを使用してコンテナに昇る際は、必ず社所有の ハシゴ(4 m、接地点に滑り止め付き)を使用する。
- ・ハシゴを使用する際は、立て掛け角度 75 度や上部を 60 cm以上出すなど安全な掛け方 を再周知し徹底する。



(事故の型) 墜落・転落 (起 因 物 ) 物上げ装置・運搬機械 (休業見込み) 6 ヶ月 骨盤骨折、腰骨破裂骨折、右足首骨折

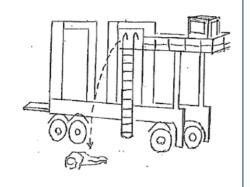
# 【発生状況】

上屋前のコンテナ蔵置場でストラドルキャリア の始業前点検を単独で行っていた。

その後、機器に設置されている昇降用の垂直 ハシゴを使用して降車する際、約 6m の高さか ら地面に墜落して負傷した。

# 【対策】

昇降用のハシゴに墜落防止用のセーフティブ ロックの設置が有効か検討。



(事故の型) 墜落・転落 (起 因 物 ) 仮設物・建築物・構築物等 (休業見込み) 3 カ月 右足踵粉砕骨折

# 【発生状況】

被災者は、本船水切作業の船内雑作業に従事するため、本船中甲板上を通り、本船の縄梯子を使用し船内に降り始めたところ、縄梯子の4段目を踏み外し、ローホールドまで7.9mの高さから墜落し、右足踵を強打し負傷した。

# 【原因】

- ・船内での昇降に不安定な縄梯子を使用した。
- ・縄梯子の昇降時に 3 点以上での体の支持が徹底されていなかった。
- ・ベルブロック等の墜落防止措置を講じていなかった。

# 【対策】

- ・船内での昇降には可能な限り不安定な縄梯子ではなくアルミ等の梯子を使用する。
- ・梯子での昇降時の 3 点以上での体の支持を徹底する。
- ・ベルブロック等の墜落防止措置を講じる。

